

グループA 若者支援

お金

親への依存の長期化

社会的・経済的に格差がある

金銭的な不安を減らす

教育の無償化

赤ちゃんにお金がかかるので病院は無償にする

子育てはお金がかかるので子ども手当を増やす

住居が高いから市営住宅を増やす

高校・大学の学費が高いから教育費の補助を充実する

日本人は仲間意識が強いから発想を変える

多様性を伸ばす

社会の仕組みにも問題がある

若者の自立のための環境整備が必要

大学生が地域で活動することで単位が得られるようにする

結婚制度の変更

失敗や回り道を許す社会

幸せは何か考える

社会への関心の希薄化

コミュニケーション不足から社会に馴染めない

若者の社会的自立の遅れ

若者の雇用問題

NPO学団に協力を得て連携する

生活保護世帯の若者の就労支援

対人関係を築く能力の不足

独身が優遇されているから若夫婦に支援する

若者の意欲が欠如

若い社会人との交流

問題を抱える若者の相談窓口は？

知らない

支援事業を知らない
どうすれば知りやすいかを聞いてみる

情報を知りたがっている
細かい情報提供をする

民生委員さんの存在が大切、情報発信

情報を知らない人が多い
機会がある時、いろんな時に知らせる

ツール

市広報のTVがあれば情報発信され
市民の理解が得られる

茨木市ホームページ掲載と記されているがパソコンがない、使い方が分からない

携帯電話に情報を流す部門別

子育てハンドブックをHPで閲覧できるようにしては

解答

子ども支援策の体系図が分かっていない
(どんな情報がどこにある)

単身赴任者において関心がないものの業務上、社員の問い合わせにおいて解答できないことがある

問い合わせ(TEL)しても、たらい回しで中断する
(諦めることあり)

若い人(主婦は)は冊子等あまり見ない

相談したい、最後まで付き合う

市民として情報の在り処が分からない
どこに問い合わせればよいか分からない

相談窓口がパンフに記載されているが総合窓口(コンシェルジュ)があってもよいのでは

気軽に相談できる場所→広場→専門知識を持った人(ないし研修を受ける)

グループB 情報提供機能

その他

情報のチラシがあるが公的機関などに限定されている

情報発信の場所を誰もが集まるコンビニ等にする

子ども110番のPRが行き届いていない
表示をもっとしっかりと

希望・夢

消極的・ネガティブな事ばかり先に考えてしまう

結婚生活を出来るか自信がない

自分が母親(嫁)になると思えない

楽しそうじゃない

自分じゃ無理

結婚生活には辛抱や、やめないといけない事が多いと感じている

漠然と「結婚」は考えていても、恋人関係から何故かもう一歩踏み出せない(男側)

親が幸せそうじゃない

苦勞を嫌がる

チャレンジ精神が足りない

男がだらしない

女が強い

自由がなくなる

出会いが無い?

お節介おばちゃんいない

結婚生活を具体的にイメージできない

家庭・家族

兄弟状況(ひとりっ子)なので、養子をもらえないと無理

家族の反対が怖い

先行、世の中、不明不安

情報が多すぎ

金

正社員になれず収入が少ない

仕事安定しない

お金がない

グループC 少子化に歯止め

必要性を感じない

結婚より魅力的な生き方がある

実家が心地良い

定職を好まない

彼・彼女がいても「結婚」より「仲間」の方が楽?心地良い?

特に困らない

結婚も車もいらぬ男